

さんよう広場

三木山陽病院 広報委員会

第24号

平成25年10月

副院長就任のご挨拶

三宅 一彰



この度、平成25年9月より三木山陽病院副院長に就任しました。内科医として当院に赴任してから4年半が経ちます。その間には、当院だけでもいろいろなことがありました。平成22年度には老人保健施設であるサンスマイル三木が開設され、平成23年度にはそれまでの内科、整形外科、眼科に加えて、あらたに外科の診療が始まりました。本年度から皮膚科も診療を開始しました。この周辺地域をみましても、医療を取り巻く環境はこの数年の間に様変わりしてきました。その最たる例として、三木市民病院と小野市民病院が合併し、北播磨総合医療センターとして今月から診療を開始しました。こうした変化は日本全国に言えることで、その背景には医療制度・介護制度の変遷があることは言うまでもありません。

こうした中であっても、森田須美春院長のもと、「困っている人は必ず診る」という姿勢で当院は頑張ってきました。私自身その姿勢に共感して、三木山陽病院への赴任を決めた経緯があります。「患者さんのことを一番に」とスタッフが同じ思いをもって仕事をしているので、内においても働きやすい病院であると感じながらこの4年半やってきました。様々に制度や社会背景が変化していく中、人々が病院に求めることも当然変わってきています。そういったニーズに病院として応えていくことも必要だと感じています。変えるべきところは変えながらも、病院の理念である「心と技術の調和した、優しく信頼される病院に」という根幹はぶれることなく、やっていくことが大事だと考えています。森田院長を中心にスタッフ全員が同じ方向を向いていけるように、副院長として病院をまとめていくことに尽力したいと思います。



外科より『そけいヘルニアについて』

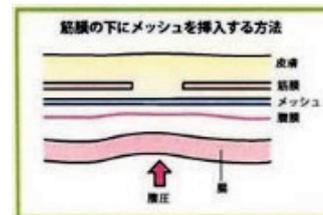
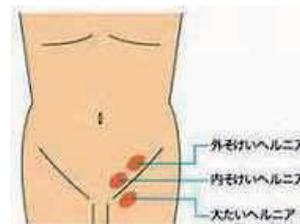
そけいヘルニアは、一般に脱腸と呼ばれる良性の病気です。成人そけいヘルニアは加齢とともに下腹部から足の付け根（そけい部）の組織が脆弱になり、その部分からお腹のなかにある腹膜が袋状に飛び出してくることによっておこります。そけいヘルニアの症状は軽いものは立った時やお腹に力を入れた時にそけい部に柔らかい膨れを感じたり、通常は指で押さえると引っ込みますが、時になる腫れが硬くなり指で押さえても引っ込まなくなる場合は緊急手術が必要ことがあります。

そけいヘルニアはお薬では治りません。治療には手術が必要です。手術の方法には筋肉を寄せる従来法や、人工物を使った補強方法があります。

当院ではクーゲル法という形状記憶リングで縁取られたメッシュをつかって内側から腹膜を被い、腸などがでるのをふせぐ手術を行っています。利点としては、再発率や痛みが軽いことなどがあげられます。

先に書きました様な症状をお持ちの方は一度、外科外来でご相談下さい。

外科 針生智樹



クーゲル法的人工シート

金谷蔵人医師をご紹介します！

大学病院、筑豊労災病院（現飯塚市立病院）、久留米大学医療センター、宗像水光会総合病院にて外科医として研鑽を積み、平成 22 年 4 月より神戸市先端医療センター研究棟にて血管新生の研究の為に、生まれて初めて九州以外の地『関西（神戸）』で住むことになる。

その時から定期的に三木山陽病院で当直業務を行い、親分肌な森田院長や常勤の先生の人柄に惹かれていった。神戸移住後 2 年とちょっとの月日が流れ、すっかり関西での暮らしに慣れ、今後も関西に住んでいくことを決意しかかっているときに、森田院長から『いつまでも（研究で）遊んどらんと早くちゃんと（臨床医として）働けや！』と叱咤激励されたのを、勝手に『うちで働けや！』とポジティブに捉え、三木山陽病院常勤医の門戸を叩き、晴れて一員となる。

また、当直医勤務からの 3 年間勤務の経験から総合科としての夜間診察のコマも与えて頂いている。

当院かかりつけの方は既にご存じの方もいらっしゃると思いますが、福岡で 30 年以上育っているため、関西弁が喋れず、耳慣れない福岡の方言で話しておりますが、病気を治したいという気持ちに地域格差はありません。

外科外来および総合科夜間外来を担当しておりますので、なんなりとご相談ください。



金谷蔵人医師

1976 年生まれ、福岡出身
平成 14 年久留米大学医学部卒
同大学外科学入局

専門 外科一般
趣味 スキューバダイビング、
ビーチリゾート旅行
認定医 日本外科学会外科専門医

『さんサン健康ひろば』が開催されました！

6月23日（日）に第1回『さんサン健康ひろば』を開催しました。
天候にも恵まれ、たくさんの地域の皆様に参加して頂き、ありがとうございました。
身体測定、骨密度測定、医師による医療相談、お薬相談、看護相談、栄養相談、介護・福祉相談など各ブースに分かれて、地域の皆様と触れ合いの場を持つことが出来ました。
院長の講演や長生き呼吸体操でも、たくさんの方が積極的に参加されていました。

相談ブース



医療相談ブース



口腔ケアブース



実行委員会の会議

前日の準備風景



測定ブース



採血ブースの様子



1番人気の骨密度ブース

体験ブース



リハビリによる『長生き呼吸体操』



自由が丘小学校コーラス部
(サンスマイル三木で)



院長の講演風景

展示ブース



自由が丘自治会の皆様、ありがとうございました

皮膚科

皮膚科より

5月より火曜日と土曜日の9時～12時に、皮膚科診察が始まりました。火曜日担当は牧野夏先生、土曜日は担当医です。

水虫は、患部を少し削り顕微鏡で見てすぐに診断がつきます。



イボには、液体窒素を使って治療していきます。ニキビにはおすすめの軟膏があります。おかげさまで、患者様も増えています。皮膚トラブルで悩んでおられる方、ぜひ一度診察にお越し下さい。



血糖コントロールが乱れやすい 年末年始をうまく乗り切りましょう！

糖尿病患者さまの年末年始の過ごし方
日時：12月19日（木）

午後12時～2時30分

開催場所：当院本館3階 大会議室

参加費：無料

講師：森田院長

500 kcal の軽食をご用意しています

<対象者>

- ・糖尿病患者様およびご家族様
- ・糖尿病に関心のある方

<応募方法>

医事課受付・栄養相談室前にある申込用紙にご記入の上お申込みください。

またはお電話（0794-85-3061（代表））でお申込み下さい。

<締切>

12月12日（木）先着100名様

<お問い合わせ>

栄養科 稲田・大西 まで



3階 敬老会

秋晴れの中、9月18日（水）3階病棟で敬老会を開きました。

子供たちによる歌のプレゼントやボランティアさんによるハワイアの踊りなど手拍子もでて笑顔の中、賑やかに幕を閉じました。



インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月15日よりインフルエンザの予防接種が開始になります。

出来るだけ11月中に予防接種をお受け下さい。65歳以上の方には公費負担補助があります。

詳しくは外来受付までお問い合わせください。



アクセス MAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

<http://www.mikisanyo-hp.com>

E-mail: info@mikisanyo-hp.com